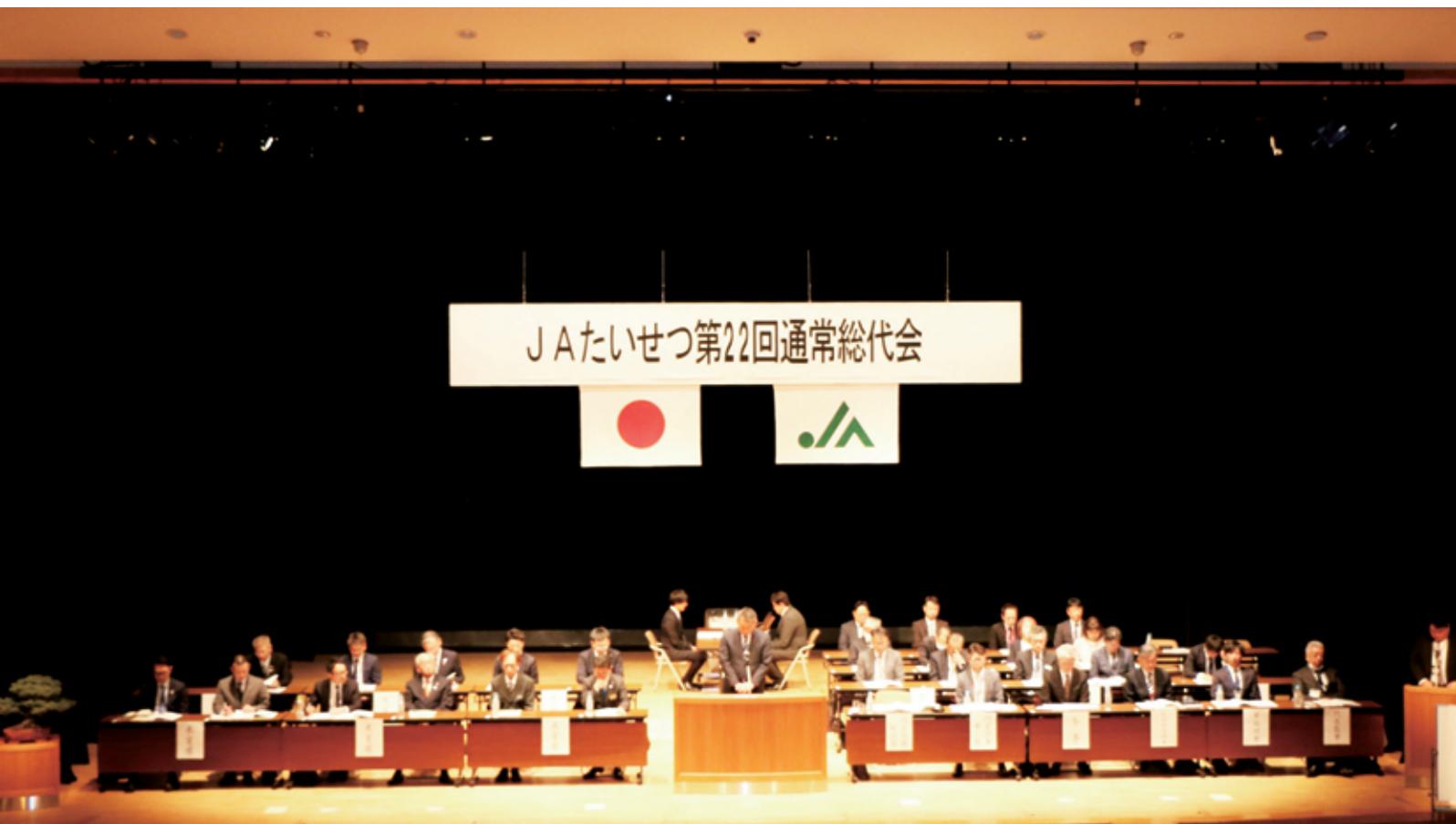


広報 ひろば
http://www.jataisetu.or.jp
たいせつ
Vol.265
2025
5
月号



JAたいせつ第22回通常総代会

- 総代会
- 役員紹介
- お米の販売先
- たいせつトピックス
- 新人職員紹介
- 理事会・監事会のご報告

第22回 通常総代会開催

たいせつ農協第22回通常総代会が4月10日（木）午後1時より、たかすメロディーホールにおいて、第8期総代様と来賓の方々よりご出席を賜り開催されました。

はじめに、布施筆頭理事の音頭により出席者全員によりJA綱領の唱和を行い、続いて相澤代表理事組合長より開会の挨拶がなされた後、ご来賓を代表して鷹栖町長 谷寿男様、旭川市農政部長 林良和様、系統連合会を代表致しまして、JA北海道厚生連並びにJA共済連北海道本部会長 西本護様よりそれぞれご祝辞を頂きました。その後、議長選出において東鷹栖地区16区農事組合の赤崎清志総代、鷹栖共栄町内会の小野寺昭人総代が選出され、議長団の就任挨拶後、総代会への出席人数の報告がなされ、総代定数257名中、出席総代数146名、代理議決数9名、書面議決数59名、議決権総数214名で本総代会が成立する事を告げて議事に入り、令和6年度第22事業年度事業報告、決算報告、剰余金処分案、令和7年度事業計画案を含む提出議案8件並びに報告事項3件について上程され、満場の賛成により全議案について原案通り可決承認を頂きました。

最後に外川代表理事専務より閉会挨拶をもって、午後3時05分に閉会となりました。

総代の皆様には農繁期で大変お忙しいところ、ご出席を賜り誠に有難うございました。また、ご都合により書面議決による議決権行使、委任状での代理議決頂きました総代の皆様にもお礼申し上げます。

令和7年度の農協運営につきましては、最終年となる第7次地域農業振興計画及びJA中期経営計画の実践と本総代会ならびに農協事業懇談会で頂いたご意見をもとに、役職員一丸となって取り組んで参りますので、組合員皆様の一層の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。



議長団(左から鷹栖共栄町内会 小野寺 昭人さん、東鷹栖16区農事組合 赤崎 清志さん)

退任役員の皆様 大変お疲れ様でした。

この度の任期満了に伴う役員改選で、寺本建学経理事（信用担当）、高橋和久員外監事（常勤）の2名が4月10日で退任されました。今回退任されましたお二方には、今後とも益々ご健勝でご活躍されますようお祈り申し上げます。



寺本 建 学経理事（信用担当）
令和4年4月よりたいせつ農業協同組合理事に就任。
1期3年役員をお勤め頂きました。



高橋 和久 員外監事（常勤監事）
平成31年4月よりたいせつ農業協同組合監事に就任。
2期6年役員をお勤め頂きました。

JAの運営を担う新役員決まるたいせつ農業協同組合新役員紹介

たいせつ農業協同組合令和7年次のスタートに当たり、4月10日の通常総代会において任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任決定を戴きました。また、4月10日の第1回理事会、第1回監事会において次の通り新執行体制が決定致しました。



代表理事組合長
相澤 峰基
【鷹栖地区】



代表理事専務
外川 守
【東鷹栖地区】



筆頭理事
布施 善貴
【東鷹栖地区】



理事
酒井 雅憲
【鷹栖地区】



理事
開田 優作
【東鷹栖地区】



理事
高野 弘貴
【東鷹栖地区】



理事
門木 尚之
【鷹栖地区】



理事
高橋 雄二
【鷹栖地区】



学経理事
澤田 康彦
(審査担当・参事)



学経理事
久木 健宏
(信用担当・金融部長)



代表監事
吉本 憲
【鷹栖地区】



監事
霜野 光則
【東鷹栖地区】



員外監事
安藤 秀雄
(常勤監事)



参与
舟根奈穂美
【鷹栖地区】



参与
橋本 美代
【東鷹栖地区】

第22回通常総代会開会あいさつ



たいせつ農業協同組合 第22回通常総代会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

総代の皆様に於かれましては、春作業の最盛期に入りそれぞれに大変お忙しい中、本総代会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素より農協事業全般に亘って深いご理解と多くのご利用をいただいておりますことに、重ねてお礼と感謝を申し上げる次第です。

また、本日は公務等多忙な中、鷹栖町長 谷様、旭川市農政部長 林様、JA北海道厚生連およびJA共済連北海道本部 西本会長をはじめとする多数のご来賓の皆様にご列席を賜り、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

令和6年を振り返りますと、元日には能登半島地震が発生し甚大な被害が出ました。被災された方々にはお見舞いを申し上げますところですが、一年以上たった現在においても復旧・復興はあまり進んでおらず、一刻も早い進展が待ち望まれています。

また、全国的な高温と大雨の繰り返しはここ数年来の気象傾向で、温暖化の影響を受け世界的に気象は不安定化し、農産物の生産に悪影響が出ています。当地域においても令和5年に近い暑い夏となり、7月には大雨の被害も一部ありましたが、全般的には農産物の作柄は概ね良好となり、米・青果については需給環境の影響から価格も高値で推移しました。生産コストが高止まりし経営的に厳しい年が続いていた中で、生産者の皆さんは一息つけたのではないかと感じています。

農政においては、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正され、これに基づく新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定される見通しとなっています。しかしながら、昨今の米騒動・乱高下する農産物価格・輸入穀類の不安定化など、さらにはアメリカ・ファーストに邁進するトランプ政策の影響など、本当にこの政策で日本国民の食が守れるのか疑念が拭えません。食料基地北海道の未来を守れるよう、JAグループとしてしっかりと提言・要請運動を継続して参ります。

農協事業については、コロナ禍後の重点対策として組合員との対話活動「会っちゃお」訪問を継続実施してまいりました。実施方法については様々なご意見をいただいておりますが、改善・充実を図り今後も継続して参ります。

理事会においては7月より女性参与二名の登用、職員についても女性一般職の総合職登用を図り、組織の活性化を進めています。

また、取り組みが遅すぎたという反省はございますが、特別栽培米やJクレジットへの取り組み強化など、組合員の所得向上を目指して推進して参ります。

当地域主産である米をめぐる状況は、過去に例を見ない正に異常な状態と言えます。5年産の不足感から始まった需給逼迫は、6年産収穫前の端境期には「令和の米騒動」と呼ばれ、取引価格は高騰しました。その後も様々な要因で需給バランスや流通の滞りは回復せず、現在も小売価格は上がり続けています。

代表理事組合長 相澤峰基

当JAとしても集荷環境に対応しきれず、6年産の集荷実績は厳しいものとなりましたが、出荷いただきました米については、共計精算やJA直売・施設利用還元を鑑み、5月あるいは8月までに4,000円程度の追加精算ができるものと考えています。二年に跨る精算へのご理解と、過去からの北海道米の取り組みが今の地位を築き上げ、信頼される産地形成が成されてきたことにもご理解をいただき、より一層のJA・系統集荷へのご協力をお願い申し上げます。

また、水田活用米穀については、7年産に向けて交付金の上乗せや取引価格の引き上げを図り、主食用米の収入水準に近づける方策が予定されていますので、従来通り主食用米の生産目安の遵守をお願いいたします。不履行については、地域全体の交付金の減額や不交付あるいは面積再配分など、地域の生産者に対する影響が多くなりますので、ご理解をお願い致します。

決算においては、各部門収益の積み上げと費用の削減に努め、事業利益9千8百万円、当期剰余金として1億2百万円を計上し、前期繰越金と合わせた1億4千9百万円から剰余金処分案を提案しています。事業分量配当金については、過去二年コスト高に対応してきましたが、恒常化もあり集約して主に手数料還元を考慮し、とくに主食用米については集荷対策も含めての単価としております。

7年度事業計画においては、旧鷹栖支所跡地一帯を現状渡し条件のもと7千5百万円で鷹栖町に譲渡する計画とし、各財務諸表に表示しております。遊休資産の有益利用、鷹栖町市街地の活性化、組合員や地域住民の利便性の向上を鑑み、理事会で協議を重ね計画決定しております。

また、従来対応による人件費の引き上げなどの影響で厳しい計画となっておりますが、8年度より始まる次期地域農業振興計画の策定と同時に事業の見直しを図り、推進にあたっては役職員一丸となって取り組み、地域農業と農協経営の維持発展に努めてまいります。

決算関連・計画関連および役員を選任など、提出議案全8件について、ご審議・ご理解のうえご承認賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、全国JAグループの農政組織である全国農業者農政運動組織連盟では、本年7月の参議院通常選挙に向けて、ホクレン代表監事およびJA道北なよろ会長理事である「東野ひでき」さんを、全国JAグループの代表として決定し、全国比例代表候補予定者としてJAグループのほか北海道農民連盟からも推薦をいただきながら、支援活動を進めております。

本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、農政運動が重要な役割を担っていることをご理解いただき、さらに支援の輪を広げるべく、組合員皆様方のお力添えを何卒よろしくようお願い申し上げます。

春の繁忙期に入り、この後田植えが終わるまで気の抜けない日々が続きます。事故や怪我に十分注意されますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝・ご多幸と、今年一年が実り多き年でありますことを心より祈念申し上げ、本総代会開会にあたってのご挨拶と致します。

本日は、よろしくお願い致します。

お米生産者へのエール

J Aたいせつのお米を選んでくださっている卸や実需者等からの期待の声や応援メッセージをお寄せいただいておりますので、掲載いたします。



埼玉県を中心に160店舗展開するBelc「ベルク」と連携 ～「たいせつ米」の評価と産地が見える販売戦略～

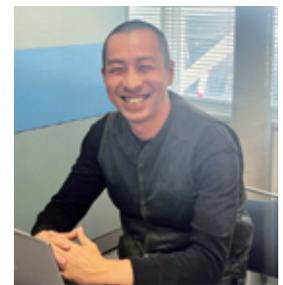
◇今回の取り組みについて

お米の需給が不安定なか、将来的に安定したお米の供給をしていくため、新たな取り組みとしてJAたいせつ様と始めました。お米の販売は、一般的に「県と品種」を大きく訴求した商品パッケージで販売されています。しかし、生産者にとっては、自分たちの生産したお米がどこに消費されているのかわからず、消費者にとってもどのような地域のお米のものかわからないことから、生産者も消費者も無駄な価格競争を強いられる悪循環を生み出していると考えます。

JAたいせつ様の名前やブランドを全面的に訴求するパッケージにかえて、JA（産地）を指定してお米を販売し、それを継続的に行うことは、生産者にとって安定して供給先を確保するだけでなく、自分たちの生産したお米がどこに売られているかを知ることができるようになるだけでなく、消費者にとっても、価格以外での商品選択の付加価値を楽しんで頂けることに繋がるのではないかと考えて今回の取り組みを始めさせて頂きました。

加工食品やお酒のメーカーが問屋や小売店への卸価格を、生産したコストと自分たちに必要な利益を算出して原価を決めているように、本来であればお米も生産者が生産コストと利益を決めて、問屋や小売店に見積りを出して販売するのが正しい形であると思います。

最終的には、JAが生産者の方にいくらで買うという形を廃止して、生産者の方、JA、問屋、小売店で価格を決めて健全な儲かるお米づくりに貢献できるようになるまで取組んで参りたいと思っております。



株式会社ベルク
片山 彬 パイヤー

◇売れ行きは？

昨年12月に販売した「ゆめぴりか」・「ななつぼし」は、当時の売場状況から相対的に少し価格が高い印象はありました。消化率（※1）が好調だったので、大きな問題はありません。



◇令和7年産米に向けて

この取り組みは継続していくことで意味が出てくると思います。小売店としては、消費者が離れないように、少しでも多くのお客様に関心を持って頂けるように、価格面、販促面で改善点を見つけ、都度フィードバックと改善を行いながら取り組んでいきたいと思っております。

できるだけ多くの期間に店頭で訴求できるように、数量の課題もありますので、解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

今後も引き続き、JAたいせつ様と継続的な取り組みとさせて頂きまよう宜しくお願致します。

※1）消化率は、在庫や商品の中でどれだけ販売されたかを示す指標です。食品業界では、消化率はその期間中に売れた商品の数を在庫の数で割ることによって計算され、これにより、どれだけ在庫が売り切れたかを把握します。

田んぼアート 2025 デザイン紹介 !!

本年の田んぼアート事業は、20周年や全国田んぼアートサミットを10年ぶりに誘致開催する年であり、より注目を集めると共に、たいせつ地域（旭川市・鷹栖町）らしさを表したデザインになるよう、青年部が中心となって協議を重ねた結果、旭川市出身のパリオリンピック槍投げ金メダリストの「北口榛花選手」とのコラボデザインに決定しました。「田んぼアート20th 想いよ届け」という言葉には、この20年という長い月日を絶やすことなく続けてきた田んぼアートを、これからも10年、20年続けていくという決意と、この取組みが北口榛花選手をはじめ、沢山の消費者に届き、よりお米や農業が身近に感じてほしいという思いを込めて制作しました。

本年も、「田んぼアート親子生き物調査」、「稲刈り体験事業」、「第14回 田んぼアートフェスティバル」などを開催し、生産者と消費者とのつながりを深めると共に、消費者の皆さんに様々な視点から農業に興味・関心を持って頂けるイベントを企画して参ります。

また、6月6日に地元小中学生や農業関係団体のご協力を頂いた中で、田植えを予定しており、6月下旬には併設の見晴台を開放する予定となっておりますので、沢山のご来場をお待ちしております。

田んぼアート2025デザイン



※「ル」は、昨年から全国田んぼアート協議会で取組み始めた大谷翔平選手への応援メッセージの一部。今年は「ワールドチャンピオン」を10団体で一文字ずつ担当することとなりました。

ご 就 任



4月3日に開催された北海道農業青年部協議会（JA道青協）第74回定期総会にて、東鷹栖17区 高見章太さんが同協議会の会長（2期目）に就任されました。1期目となった昨年は、様々な活動へ主導的に参加し、北海道農業の魅力を広く発信して頂きました。

今後もJAたいせつの若きリーダーとして当地域の魅力をより多くの方々にとって頂く機会にもなりますので、応援よろしくお願い致します。

JAグループの代表議員がなぜ必要なのか

JAグループの声を！

JAグループの農政運動の目的は、「農政（農業・農村・農協政策）にJAグループの声を反映させて、生産現場の課題解決を図ることです。そのため、農政を決定する政府・与党の中に、農業・地域・JAグループへの理解者を増やすことが農政活動の強化につながります。

働きかけと支援を！

農業の実情を知る議員がいることによって、政府・与党内に農業現場の実情を伝えることが可能となります。そのため、JAグループの声を代弁し、政府・与党に積極的な働きかけを行う議員に対して、組織でまとも、活動を支え、連携することが、政策実現のカギとなります。

農政活動の強化に向けて！

国民への食料の安定供給、環境との調和、組合員の所得増大、農業・農村の持続的発展等に向けた生産現場の課題解決のために、今こそ我々JAグループの組織力の発揮が必要なのです。

組織力の結集を！

JAグループの様々な事業に対し措置されてきた予算・税制等の政策支援は、これまでの農政運動を通じて確保してきたものです。これらの政策支援を維持・発展させるためには、JAグループが団結して農政運動を行うことが必要です。組合員や役員一人一人の力は小さいですが、組織としてまとまることで“力”となります。

我々の代表を！

国会（政治）は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちら





令和7年産へ向けた 玉ねぎの播種を行いました。

2月26日～3月13日

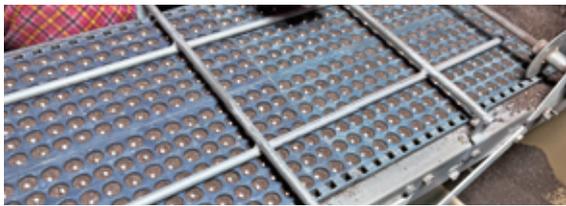


東鷹栖集荷場にて今年は460,000粒以上の播種を行いました。

写真の播種機では土を入れる→種を入れる→土をかぶせる→上から押す作業を行い、1時間で約89,000粒の播種を行うことができます。

撮影した日は、400,000粒以上の播種を行っている最中でした。

本年産玉ねぎの安定的な収量確保へ向けて、まずは体系防除の実施をしましょう。



水稻・青果の施肥相談会開催

2月18日～19日・3月11日

水稻・青果の施肥相談会を2月18～19日に本所営農センター、3月11日に支所営農センターにて実施しました。

土壌診断結果を基に前年の収量やタンパク、栽培履歴から分かる施肥量等の情報に加え、食味や収量等の目標を聞きながら、上川農業改良普及センターの職員と一緒に施肥設計を行います。そうすることで、肥料をムダなく使うことができ、コストの低減や安定的な生産に繋がられるようになるため、例年多くの方に相談会のご参加をいただいております。

本年は、両地区で93戸（東鷹栖53戸・鷹栖40戸）が土壌診断を提出しており、時折混雑しましたが、比較的スムーズに相談会を実施することが出来ました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



旭川米生産流通協議会高品質米 生産者表彰式・生産者総合研修会開催

3月6日(木)

この表彰式は、毎年協議会が生産目標とする基準を満たす玄米の生産に顕著な成績を収めた生産者を表彰するもので、旭川市と鷹栖町を地区とする4JAから推薦された米生産者24名が表彰を受けました。表彰基準は「1等米」かつ「タンパク値6.8%以下」の「ななつぼし」または「ゆめぴりか」で、単位面積当たりの出荷量が多い生産者を選出しています。令和6年産米はほとんどの地域で平年作を上回り、激戦の中選ばれた表彰者のたゆみない努力の功績を称え、協議会会長を務める相澤組合長から賞状と賞金が渡されました。表彰式終了後にはホクレン旭川支所農機燃料自動車課、泉谷係長と貝塚氏による「水田水管理システムファーム」についての講演で生産者総合研修会が開催されました。



受賞者の皆さまこの度は誠におめでとうございます。

令和6年度 高品質米生産者表彰式 表彰者 (JAたいせつ)

第1部門 (10ha以上)

第2部門 (10ha未満)

賞	地区	氏名	賞	地区	氏名
地区優秀賞	鷹栖北成	加藤 敏昭さん	銅賞	東鷹栖29区	廣田 敦彦さん
地区優秀賞	東鷹栖28区-2	石川 和希さん	地区優秀賞	鷹栖瑞穂	谷口 昇さん

JAたいせつ酪農畜産振興会の総会を開催しました。

2月27日(木)

一夜にして大雪が積もり、参加を見送る方もいましたが、JAたいせつ酪農畜産振興会の一年間を振り返る総会を、無事に本所営農センターにて開催することが出来ました。

はじめに野作会長より挨拶をいただき、来賓を代表して相澤組合長より、近年の酪農畜産業や農業情勢についてお言葉をいただきました。

1号議案令和6年度事業報告、収支決算報告から始まり、2号議案から3号議案の令和7年度事業計画案、収支予算案までのすべてが原案通り承認されました。

ご参加頂いたご来賓、会員の皆様、誠にありがとうございました。



あなたの給食牛乳はどの形？



JAたいせつ採種組合 第42回定期総会開催

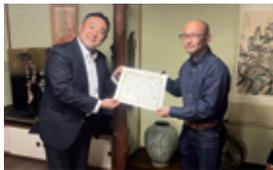
3月15日(土)

JAたいせつ採種組合第42回定期総会を大八食堂にて組合員と来賓を合わせました計10名にご参加を頂き開催致しました。

開催にあたり組合長挨拶として寺崎組合長、来賓を代表して相澤峰基代表理事組合長よりご挨拶を頂戴いたしました。

議事につきましては、議案第1号、令和6年度事業報告並びに収支決算報告から始まり、すべての議案が原案通りに承認され、JAたいせつ採種組合第42回定期総会は閉会されました。

総会終了後には、懇親会が行われ、林副組合長より祝杯のご挨拶を頂きました。また、懇親会の途中で令和6年度の多収栽培者として長谷英樹さんと小野寺昭人さんに賞状の授与を行わせていただきました。皆様終始楽しそうにご歓談しており、様々な意見交流の姿も見られ、大変有意義な時間となりました。



第16回たいせつ農産物販売 協議会定期総会 開催

3月7日(金)



協議カイ
総カイ
なんつって

本所事務所2階大会議室にて、たいせつ農産物販売協議会第16回定期総会が開催されました。

総会には、外川 守代表理事専務にご臨席頂き、来賓の挨拶を頂戴しました。

「令和6年度運営報告及び販売実績報告兼負担金及び積立金 会計報告」「令和7年度運営計画及び販売計画(案)」について賛成を頂き可決承認となりました。

総会終了後には、子供食堂「らっころム」会長 宮嶋様より子供食堂の活動内容などの説明会を行って頂き、販売協議会 会員皆様も活動内容を知れる良い説明会となりました。



左から、子供食堂「らっころム」野村副会長、宮嶋会長



左から、橋本副会長、柿木議長、笹川会長、中谷監事

生産調整実施計画確認野帳受付

4月14日～18日

令和7年度生産調整実施計画確認野帳受付が東鷹栖・鷹栖両地区営農センターにて行われました。

昨年に引き続き受付日を設けて、令和6年度の面積・作物の記載情報から令和7年度の作物を修正・記入いただき、職員がデータを入力させていただきました。

今回より水田活用の直接支払交付金の5年の水張ルールにおける1か月水張の代わりとなる連作障害を回避する為の「水張代替取組」については、令和7年・令和8年での実施が必要となる為、代替取組を考えていただきました。

また、今回も各農業関係団体が常駐し、今後の基盤整備の聞き取り調査、農地の売買・賃貸等についての相談会も併せて開催されました。

生産者の皆様は春作業が始まりお忙しい中ではありましたが、ご提出いただきありがとうございました。



令和6年度 農協事業懇談会開催

3月26日～28日

農事組合・町内会会館または地域内施設の19会場により農協事業懇談会が開催され、延べ165名の皆様にご出席を頂きました。

各会場の懇談会では、4月10日開催の総代会に向け、総代会議案に基づき令和6年度決算報告や令和7年度計画の説明、農業振興計画の進捗などを説明させて頂いた後、JA事業に対して様々な意見交換が行われました。

また、本年も青年部、女性部の組織向け懇談会を同日程内に開催し、多くの部員の方々にご出席を頂きました。

事業懇談会は、組合員皆様との対話による意志反映に向け、事業運営に係る貴重なご意見・ご要望を頂く重要な機会と認識しておりますので、今後とも多くご出席を賜りますようお願い申し上げます。



中山間地域等直接支払交付金〔第6期対策〕 東鷹栖集落と鷹栖集落が連携協定を結ぶ

鷹栖町「プラザ・クロス10」にて、中山間地域等直接支払交付金（第6期対策）東鷹栖集落・鷹栖集落による連携協定調印式が開催されました。

本連携協定は、中山間地域等直接支払交付金制度の令和7年度から始まった第6期対策において、10割交付の受給条件となった他集落との連携を実現するため、JAたいせつ地域で中山間制度を活用する東鷹栖集落と鷹栖集落との連携協定で、今回連携を結ぶことにより、引き続き10割交付を受けることができるほか、新たにネットワーク化加算（100万円）とスマート農業加算（200万円）が受けられ、両集落ともより充実した共同取組活動が可能となります。

調印式には、両集落の3役が出席し、連携の意思確認を行った後、それぞれの集落の総代会及び委員会において承認を受けた予算計画について共有を図り、今回の連携に必要な「ネットワーク化活動計画」及び覚書について協議し、原案通り承認されました。また、本連携協定の名称について協議し、今後は「東鷹栖・鷹栖地域連携会議」として年1回以上の開催としました。

最後に、東鷹栖集落外川代表と鷹栖集落北村会長に覚書へ署名と押印を頂き、出席役員で記念撮影し終了しました。

☆東鷹栖・鷹栖地域連携会議 役員☆

写真左から

- 東鷹栖集落 橋本 幸博氏（会計）
- 東鷹栖集落 花沢 隆一氏（副代表）
- 東鷹栖集落 外川 守氏（代表）
- 鷹栖集落 北村 浩光氏（会長）
- 鷹栖集落 高橋 雄二氏（副会長）
- 鷹栖集落 湯本 賢太郎氏（副会長）



令和6年産「ゆめぴりか」生産優良表彰

「北海道の新たなブランド形成協議会」では、「ゆめぴりか」の作付生産者に対し「基準内品生産の意識向上」と「ブランド形成への取り組み参画」に敬意を表し、表彰基準(下記)を満たした生産者へ表彰マグネットを配布しています。

◆マグネット授与基準

ア、優秀表彰～金シート

協議会取組数量に占めるタンパク値 6.8%以下の「ゆめぴりか」出荷数量が全道出荷率（19.2%）を上回る生産者。

イ、優良表彰～えんじシート

協議会取組数量における「ゆめぴりか」基準内品の出荷数量が全道出荷率（66.6%）を上回る生産者。

※アに該当する生産者はイの表彰は行わない。

◆優秀表彰



北條 和良 廣田 敦彦 森木 研吾
谷口 昇 竹田 典洋

◆優良表彰



金塚 大弥 赤崎 清志 傅里 隆男
加瀬 陽介 霜野 光則 荒井 尚美
石川 和希 花沢 隆一 服部 真大
有倉 喜彦 (順不同、敬称略)

令和6年産米については、JAたいせつ地域では162件の「ゆめぴりか」生産者のうち「優秀表彰（金マグネット）」5件、「優良表彰（えんじマグネット）」10件の合計15件の方が優秀な品質を保持し、表彰マグネットが授与されることとなりました。

受賞者一覧は以下の通りとなっており、受賞の皆様に敬意を表し組合員皆様にご案内申し上げますと共に「ゆめぴりか基準品生産」へ一層のご協力をお願い申し上げます。



名前：大川 朔空
出身地：滝川市
出身校：北海道知内高等学校
配属先：営農部付
趣味・特技：釣り・耳かき
好きな食べ物：牛肉
組合員に向けて一言
元気いっぱい頑張りますのでこれからよろしくお願ひします。



名前：鬼柳 悠人
出身地：旭川市
出身校：旭川実業高等学校
配属先：営農部付
趣味・特技：アニメ・映画鑑賞
好きな食べ物：寿司
組合員に向けて一言
いつも地域農業を支え、安心安全な食を届けてくださりありがとうございます。これからよろしくお願ひします。



名前：鎌塚 奏音
出身地：旭川市
出身校：旭川商業高等学校
配属先：購買部付
趣味・特技：バドミントン
好きな食べ物：じゃがいも
組合員に向けて一言
農業の知識は全くありませんがこれからたくさん学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

新人職員紹介



組合員のみならず、よろしくお願ひします。

理事会からの報告

3月

令和7年3月3日第13回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, 令和6年度事業報告並びに決算報告について
令和6年度決算について各部門より詳細報告があり、全て承認決定されました。
- 2, 令和7年度取扱計画（案）について
令和7年度事業取扱計画の策定について各部門より説明があり、全て承認決定されました。
- 3, 信用事業方法書の一部改正について
原案通り承認決定されました。
- 4, 収支シミュレーションの策定について
原案通り承認決定されました。
- 5, 定款第57条3項による組合と理事の契約承認について
原案通り承認決定されました。
- 6, 組合員の出資持分譲渡の承認について
相続による持分譲渡1件について原案通り承認決定されました。
- 7, 第9期総代選挙に伴う正組合員数の確定について
原案通り承認決定されました。
- 8, 上川ライスターミナル株式の取得について
原案通り承認決定されました。

令和7年3月12日第14回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, みのり監査法人監査報告について
令和6年度（第22事業年度）に実施された、みのり監査法人による決算計算書類等の監査結果について報告があり承認されました。
- 2, 監事監査報告について
令和6年度（第22事業年度）における事業報告等の内容及び理事の職務執行についての監査報告と、会計監査人「みのり監査法人」の監査結果の相当性について報告があり承認されました。
- 3, 令和6年度決算関係書類の承認について
令和6年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、及び附属明細書等について報告し、原案通り承認決定されました。
- 4, 令和7年度事業収支計画について
令和7年度収支計画の策定について各部門より説明があり、全て承認決定されました。
- 5, 第22回通常総代会提出議案について
第22回通常総代会の提出議案として、全議案8件と報告事項3件について説明があり、承認決定されました。
- 6, 総代会招集通知および議決権行使書面等の内容について
原案通り承認決定されました。
- 7, 農協事業懇談会の開催について
第22回通常総代会に向け、3月26日より3月28日まで3日間の日程で農協事業懇談会を開催することについて承認決定されました。

- 8, 令和7年度の余裕金運用について
原案通り承認決定されました。
- 9, 定款第57条3項による組合と理事の契約承認について
原案通り承認決定されました。

令和7年3月21日第15回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, 監事監査講評について
3月3日から3月7日まで実施された自治監査について、総評、監査意見、事務整備状況の確認、事務改善事項・事務整備事項について報告され承認決定されました。
- 2, 任期満了に伴う業務引継ぎについて
任期満了に伴う第9期役員への業務引継ぎについて、原案通り承認決定されました。
- 3, 組合員の出資減口の承認について
出資減口1件について承認決定されました。
- 4, 令和7年度 借入金の最高限度額設定について
原案通り承認決定されました。

4月

令和7年4月10日第1回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, 代表理事組合長、代表理事専務の互選について
代表理事組合長に相澤峰基理事、代表理事専務に外川守理事が選任決定されました。
- 2, 筆頭理事の選任と理事の順位について
筆頭理事に布施善貴理事を選任し、以下理事の順位を酒井雅憲理事、開田優作理事、高野弘貴理事、門木尚之理事、高橋雄二理事の順で決定されました。
- 3, 農協法第30条第3項による信用担当理事の選任について
信用担当理事に久木健宏学経理事が選任決定されました。
- 4, 令和7年度理事報酬額について
第22回通常総代会で承認頂いた令和7年度理事報酬額について組合長・専務・筆頭理事・理事の報酬について協議し承認決定されました。
- 5, 役員退職慰労金の支給について
第22回通常総代会で承認頂いた退任理事1名に対する役員退職慰労金の支給日及び支給方法について承認決定されました。
- 6, 前任役員からの業務継承について
前任役員から3月末貸借対照表明細及び損益計算書明細で業務継承することで承認決定されました。
- 7, 令和6年度行政庁業務報告書について
原案通り承認決定されました。
- 8, 組合員の出資持分譲渡等の承認について
持分譲渡1件、相続による持分譲渡1件について原案通り承認決定されました。

監事会からのご報告

3月

令和7年3月12日第11回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, 決算自治監査の意見集約について
3月3日から3月7日まで実施した決算自治監査の意見集約について報告され、承認決定されました。
- 2, 常勤理事者との意見交換について
原案通り承認決定され、3月12日に実施されました。
- 3, 事業報告及び附属明細書について
事業報告及びその附属明細書に係る監査調書の内容について原案通り承認決定されました。
- 4, 会計監査人監査（期末）の相当性について
会計監査人の監査の相当性判断に係る監査調書の内容について原案通り承認決定されました。
- 5, 監査報告書および決算自治監査講評について
監査報告書について第14回理事会に付議すること、決算自治監査講評について第15回理事会に付議することについて承認決定されました。
- 6, 監事の選任議案に対する同意について
原案通り承認決定されました。
- 7, 今後の日程について
原案通り承認決定されました。
- 8, その他
令和6年度コンプライアンス概要報告、令和7年度コンプライアンス報告、内部監査室監査の監査報告、常勤監事の出勤状況の4点について検討を行い、承認決定されました。

4月

令和7年4月10日第1回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 1, 監事監査規程第3条による代表監事の互選について
代表監事に吉本憲監事が選任決定されました。
- 2, 監事監査規程第3条による常勤監事の互選について
常勤監事に安藤秀雄員外監事が選任決定されました。
- 3, 退任監事に対する退職慰労金の支給について
第22回通常総代会で承認頂いた退任監事1名に対する役員退職慰労金の支給日及び支給方法について承認決定されました。
- 4, 令和7年度監事報酬の配分について
第22回通常総代会で承認頂いた令和7年度監事報酬額について代表監事・監事・常勤監事の報酬について協議し承認決定されました。
- 5, 決算自治監査事務整備事項に対する処理顛末について
原案通り承認決定されました。
- 6, 今後の日程について
原案通り承認決定されました。
- 7, その他
コンプライアンス報告書について検討を行い承認決定されました。

「たいせつ」のあゆみ

3月

- 3月1日 直売所ひなまつりフェア
3日 労働安全衛生委員会・企画会議
自治監査～7日
第13回理事会
4日 第2回総代選挙各管理者会議
7日 JAたいせつ直売所販売協議会総会
12日 第14回理事会
第11回監事会
15日 第3回総代選挙各管理者会議
JAたいせつ採種組合同期総会
17日 鷹栖生産組織連絡協議会総会
19日 Jクレジット制度生産者向け講習会
女性部地区リーダー（班長）会議
21日 第15回理事会
東鷹栖年金友の会総会
24日 JAたいせつ田んぼアート実行委員会
25日 春の農機・小農機具フェア
26日 農協事業懇談会～28日
27日 青果協たいせつ支部理事会
28日 法律相談
31日 原料トマト栽培講習会

4月

- 4月2日 労働安全衛生委員会・企画会議
9日 地域水田農業推進協議会正副長会議
10日 第22回通常総代会
第1回理事会
第1回監事会
14日 生産調整転作野帳受付（～18日）
19日 春の園芸市（～20日）
26日 給油所GWフェア（～27日）
30日 第2回理事会
地域水田農業推進協議会総会

お世話になりました

（令和7年3月31日付）

●退職 営農部農産販売課長 吉本 要

人事異動がありました

（令和7年4月1日付）

営農部農産販売課長
（営農部農産販売課査役） 中田 陽介
（令和7年4月11日付）
金融部長（金融部次長） 久木 健宏
金融部付（部長待遇）（金融部長） 寺本 建

第3回 法律相談日ご案内

JAでは、農地の売買・相続等に関する問題や、その日常における法律問題について相談いただけるよう顧問弁護士による法律相談日を定期的に設けておりますので、事前にご予約の上お気軽にご利用ください。

- 相談日時 令和7年5月23日（金）
午後3時～午後5時
□相談場所 東鷹栖本所営農センター2F会議室
□弁護士 田代 耕平氏
（札幌総合法律事務所）

●お問い合わせ先

本所 営農支援係 ☎57-2357
支所 生産資材係 ☎87-4111